

Pioneer *sound.vision.soul*

CD/チューナー・WMA/MP3/WAV対応プレーヤー

DEH-030

取扱説明書

目次 4ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

[異常時の処置]

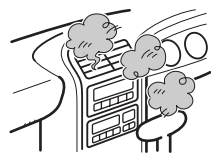
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

安全のために必ずお守りください ... 2

絵表示について
安全上のご注意

■はじめに

各部のなまえ 6

本機

本機の特長 7

WMAについて
MP3について

■本機の基本操作

本機の基本操作 8

電源ON/ソース選択/音量調節/電源OFF

■内蔵CDでCDを聞く

内蔵CDの基本操作 10

CDセット/選曲/早送り/早戻し/
CDイジェクト

同じ曲を繰り返し聞く 11

リピート再生

いつもと違う曲順で聞く 12

ランダム再生

聞きたい曲をさがす 12

スキャン再生

CD再生を一時停止する 12

ポーズ

CDの音質を調節する 13

COMP/BMX

選曲方法を切り換える 13

10曲飛びに選曲する 14

ラフサーチ

「CD TEXT」のタイトルや

アーティスト名を表示させる 15

タイトル表示/タイトルスクロール

■WMA/MP3/WAVを聞く

WMA/MP3/WAVの基本操作 16

CD-ROMセット/フォルダー選択/選曲/
早送り/早戻し/CD-ROMイジェクト

同じ曲やフォルダーを

繰り返し聞く 18

リピート再生

いつもと違う曲順で聞く 19

ランダム再生

WMA/MP3/WAV再生を

一時停止する 19

ポーズ

聞きたい曲やフォルダーを

さがす 20

スキャン再生

WMA/MP3/WAVの音質を

調節する 21

COMP/BMX

選曲方法を切り換える 21

フォルダー内の曲を10曲飛びに

選曲する 22

ラフサーチ

WMA/MP3/WAVのタイトルを

表示させる 23

タイトル表示/タイトルスクロール

■ラジオを聞く

ラジオの基本操作 24

バンド選択/放送局選択

複数の放送局を自動的に

記憶させる 26

BSM

放送局を1局ずつ記憶させる 27

プリセットメモリー

記憶させた放送局を呼び出す 28

プリセットチューニング

■音を調節する

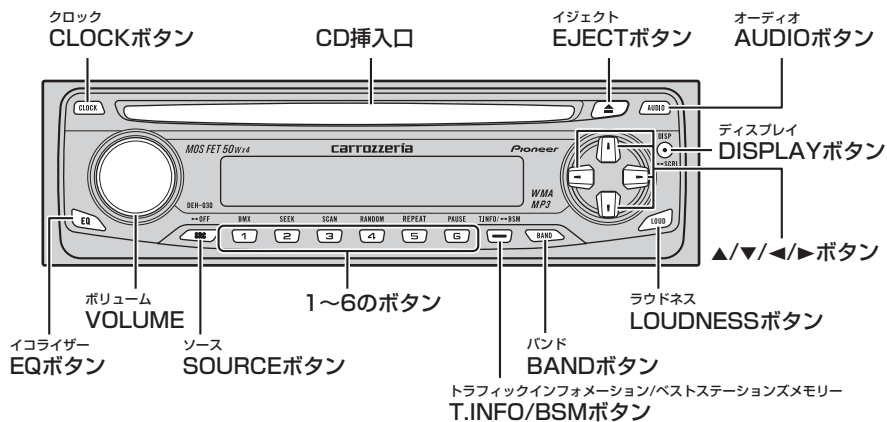
イコライザーカーブを選ぶ	29
イコライザーカーブ選択	
オーディオ調節モードを切り換える	30
オーディオ調節モード	
前後左右の音量バランスを調節する	30
フェーダー/バランス	
お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する	31
イコライザーカーブ調節モード	
イコライザーカーブを細かく調節する	32
イコライザーカーブ詳細設定モード	
小音量時の音にメリハリをつける	33
ラウドネス	
前にステージがあるような感じにする	34
FIE	
各ソースの音量の違いをそろえる	35
SLA	

■その他の機能と付録

交通情報を受信する	36
トラフィックインフォメーション	
時計を合わせる	37
時計調節モード	
時計を表示させる	37
時計表示	
CDの正しい使いかた	38
WMA/MP3/WAVファイルについて	40
故障かな?と思ったら	44
こんなメッセージが表示されたら	46
保証書とアフターサービス	47
用語解説	48
おもな仕様	50

各部のなまえ

■ 本機



本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3/WAVの再生に対応しています。

CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

WMA/MP3/WAV再生

WMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（48ページ）

■ WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

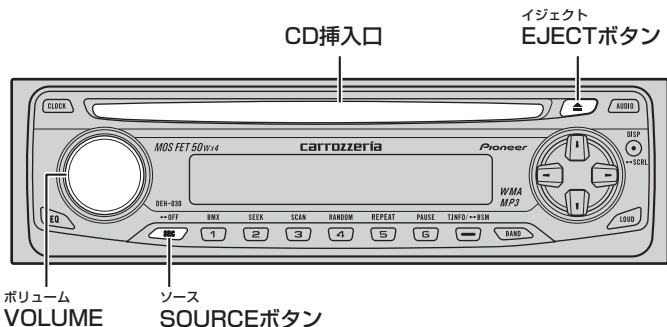
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■ MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

本機の基本操作



本機の基本操作

電源ON/ソース選択/音量調節/電源OFF

ここだけの操作で、本機を使用することができます。

1

SOURCEボタンを押して、電源を入れる



本機の電源がONになります。

- ・ CDをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。（「内蔵CDの基本操作」10ページ）

2

SOURCEボタンを押して、ソース (音源) を切り換える



SOURCEボタンを押すごとに、次のようにソースが切り換わります。



内蔵CD → ラジオ (FM/AM) → 内蔵CDに戻る

- ・ CDがセットされていないと、SOURCEボタンを押しても内蔵CDには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナが伸びます。

3

VOLUMEを回して、音量を調節する

- 右回し：音量を上げるとき
- 左回し：音量を下げるとき



0～62の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

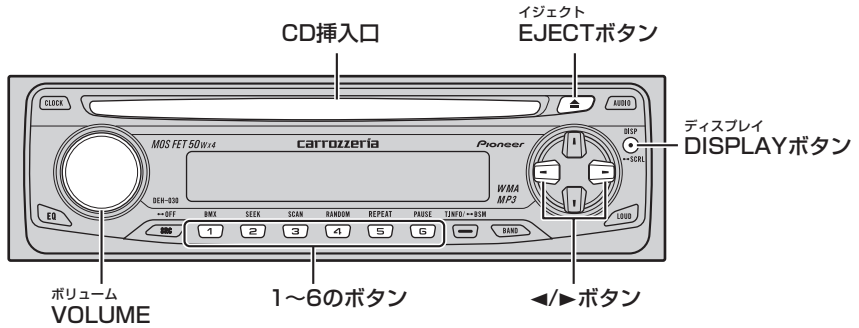
4

SOURCEボタンを1秒以上押して、電源を切る

本機の電源がOFFになります。

- ・CDをセットしたまま電源をOFFにすることもできます。
- ・電源がOFFの状態でも、EJECTボタンを押してCDを取り出すことができます。（「内蔵CDの基本操作」10ページ）
- ・時計を表示させている場合、電源をOFFにしても時計は表示されます。（「時計を表示させる」37ページ）

内蔵CDでCDを聞く



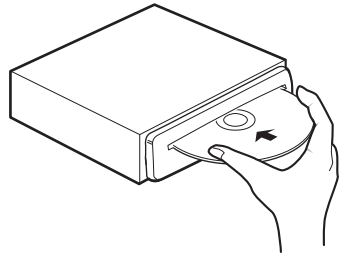
内蔵CDの基本操作

CDセット/選曲/早送り/早戻し/CDイジェクト

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

1 タイトル面を上にして、CDを CD挿入口に差し込む

CDの再生が始まります。



ご注意

- ・ CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- ・ CDをセットしたままラジオに切り換えたり、電源をOFFにしたりすることができます。(「本機の基本操作」8ページ)

2 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し ^{*1}	0.5秒以上押し 続けている間

^{*1} 選曲方法にROUGHを選んでいる場合、ラフサーチ (13ページ) になります。



3 VOLUMEを回して、音量を調節する

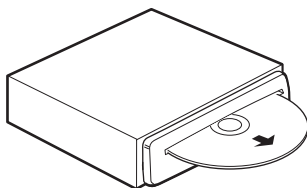
- 右回し : 音量を上げるとき
- 左回し : 音量を下げるとき



0~62の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

4 EJECTボタンを押して、CDを取り出す

- CDが出てきます。
- 出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。



・ EJECTボタンを押してCD再生をやめた場合は、自動的に電源OFFになります。

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 5のボタンを押して、リピート再生をONにする

- 今聞いている曲を繰り返し再生します。
- もう一度押すとOFFになります。



リピート再生中に表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1 4のボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲からランダムに選曲します。
もう一度押すとOFFになります。



ランダム再生中表示されます。

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1 3のボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲のはじめの10秒間が次々に再生されます。



スキャン再生中表示されます。

- 2 聞きたい曲が再生されたら、3のボタンを押して、スキャン再生をOFFにする



・スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止 (ポーズ) することができます。

- 1 6のボタンを押して、CD再生を一時停止する

CD再生を一時停止します。
もう一度押すと再生が始まります。



一時停止中表示されます。

CDの音質を調節する

COMP/BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

BMXについて

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

1 1のボタンを押して、機能を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



COMP OFF → COMP 1 (コンプレッション1) → COMP 2 (コンプレッション2)
→ COMP OFF → BMX 1 → BMX 2 → 最初の COMP OFF に戻る

・ COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

選曲方法を切り換える

◀/▶ ボタンを0.5秒以上押したときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 2のボタンを押して、選曲方法を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ROUGH (ラフサーチ) → FF/REV (早送り/早戻し) → ROUGH に戻る

10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているディスクのときに、聞きたい曲を大まかにさがすことができます。

1 2のボタンを押して、ROUGHを選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ROUGH (ラフサーチ) → FF/REV (早送り/早戻し) → ROUGHに戻る

2 ◀または▶ ボタンを0.5秒以上押して、聞きたい曲を選ぶ

- ▶ : 10曲先のトラックを選ぶとき
- ◀ : 10曲前のトラックを選ぶとき



曲番号

・10曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

「CD TEXT」のタイトルやアーティスト名を表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルや曲名などを表示させることができます。1度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

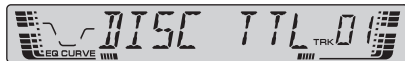
「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/アーティスト名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



- 本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。

1 DISPLAYボタンを押して、表示を切り換える

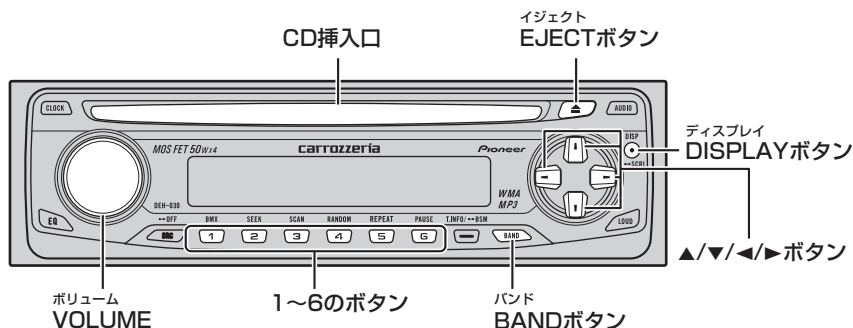


ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示 → ディスクタイトル (DISC TTL) → ディスクアーティストネーム (ART NAME) → トラックタイトル (TRK TTL) → トラックアーティストネーム (ART NAME) → 再生経過時間表示に戻る

- ・トラックアーティストネーム (アーティスト名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO NAME」などが表示されます。
- ・DISPLAYボタンを2秒以上押し、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

WMA/MP3/WAVを聞く



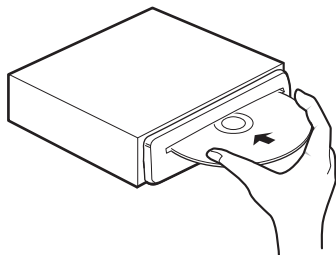
WMA/MP3/WAVの基本操作

CD-ROMセット/フォルダー選択/選曲/早送り/早戻し/CD-ROMイジェクト

ここだけの操作で、WMA、MP3およびWAVを聞くことができます。再生できるWMA、MP3およびWAVについては(40ページ)

1 タイトル面を上にして、CD-ROMをCD挿入口に差し込む

CD-ROMの再生が始まります。



ご注意

- CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- CD-ROMをセットしたままラジオに切り換えたり、電源をOFFにしたりすることができます。(「本機の基本操作」8ページ)

2

▲または▼ボタンを押して、聞きたいフォルダーを選ぶ

- ▲：次のフォルダーを選ぶとき
- ▼：前のフォルダーを選ぶとき
- BANDボタンを2秒以上押すと、フォルダー01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。



フォルダー番号

3

◀または▶ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶：次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し ^{*1}	0.5秒以上押し 続けている間

- WMA/MP3/WAVファイルの早送り/早戻しをしているときは、音は出力されません。

*1 選曲方法にROUGHを選んでいる場合、ラフサーチ (21ページ) になります。

4

VOLUMEを回して、音量を調節する

- 右回し：音量を上げるとき
- 左回し：音量を下げるとき

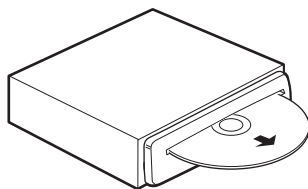


0~62の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

5 EJECTボタンを押して、CD-ROMを取り出す

CD-ROMが出てきます。

出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。



- ・EJECTボタンを押してCD-ROM再生をやめた場合は、自動的に電源OFFになります。
- ・CD-ROMを挿入すると、本機はCDからファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイは“FRMTREAD”が表示されます。
- ・VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- ・WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合は、BANDボタンを押して、WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。

同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のCD-ROMを繰り返し再生します。（通常はこのモードにしておきます。）
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1 5のボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



トラックリピート再生中に表示されます。

トラックリピート (RPTインジケータ点灯) → フォルダールリピート (FRPT表示)
→ ディスクリピート (再生経過時間表示のみ) → トラックリピートに戻る

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 5のボタンを押して、再生範囲を選ぶ

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 4のボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲からランダムに選曲します。

もう一度押すとOFFになります。

表示	再生範囲
FRDM	フォルダーリピート
RDM	ディスクリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

WMA/MP3/WAVを聞く

WMA/MP3/WAV再生を一時停止する

ポーズ

WMA/MP3/WAV再生を一時停止 (ポーズ) することができます。

1 6のボタンを押して、WMA/MP3/WAV再生を一時停止する

WMA/MP3/WAV再生を一時停止します。

もう一度押すと再生が始まります。



一時停止中に表示されます。

聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダーの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 5のボタンを押して、再生範囲を選ぶ (18ページ)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生) フォルダーリピートにする

再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

■ 聞きたいフォルダーをさがすとき (フォルダースキャン再生) ディスクリピートにする

再生中のディスク内すべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

2 3のボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

表示	再生範囲
FSCN	フォルダーリピート
SCAN	ディスクリピート



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲 (フォルダー) が再生されたら、3のボタンを押して、スキャン再生をOFFにする



- ・スキャン再生を始めた曲 (またはフォルダー) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

WMA/MP3/WAVの音質を調節する

COMP/BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

BMXについて

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

1 1のボタンを押して、機能を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



COMP OFF → COMP 1 (コンプレッション1) → COMP 2 (コンプレッション2)
→ COMP OFF → BMX 1 → BMX 2 → 最初の COMP OFF に戻る

・ COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

選曲方法を切り換える

◀/▶ ボタンを0.5秒以上押したときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 2のボタンを押して、選曲方法を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ROUGH (ラフサーチ) → FF/REV (早送り/早戻し) → ROUGH に戻る

フォルダー内の曲を10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているフォルダーのときに、聞きたい曲を大まかにさがすことができます。

1 2のボタンを押して、ROUGHを選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ROUGH (ラフサーチ) → FF/REV (早送り/早戻し) → ROUGHに戻る

2 ◀または▶ ボタンを0.5秒以上押して、聞きたい曲を選ぶ

- ▶ : 10曲先のトラックを選ぶとき
- ◀ : 10曲前のトラックを選ぶとき



曲番号

・10曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

WMA/MP3/WAVのタイトルを表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

WMA/MP3/WAVファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報や、ビットレートなどを表示させることができます。

1 DISPLAYボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



WMA/MP3の場合

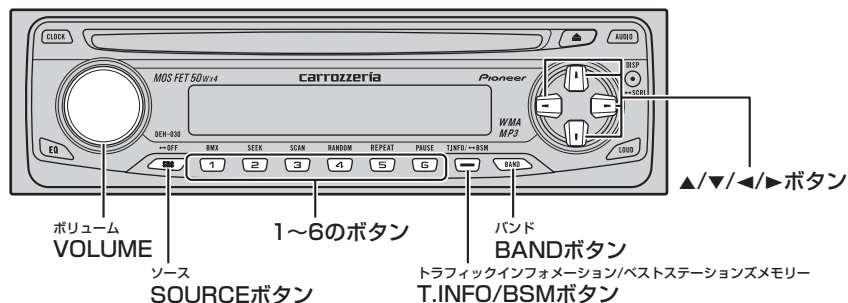
- 再生経過時間表示 → フォルダー名 (FOLDER) → ファイル名 (FILE)
- 曲名 (TRK TTL) → アーティスト名 (ART NAME) → アルバム名 (ALBM TTL)
- ビットレート表示 → 再生経過時間表示に戻る

WAVの場合

- 再生経過時間表示 → フォルダー名 (FOLDER) → ファイル名 (FILE)
- サンプリング周波数表示 → 再生経過時間表示に戻る

- ・ 曲名 (TRK TTL) などが収録されていないCD-ROMで表示を切り換えると“NO T-TTL”などが表示されます。
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- ・ 漢字やカナで入力されたタイトルは、本機では正しく表示できません。正しく表示させるためには、半角英数字でタイトルを入力してください。
- ・ VBR (可変ビットレート) で記録されたMP3ファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、“VBR”と表示されます。
- ・ VBR (可変ビットレート) で記録されたWMAファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、平均ビットレートが表示されます。
- ・ DISPLAYボタンを2秒以上押しと、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

ラジオを聞く



ラジオの基本操作

バンド選択/放送局選択

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 SOURCEボタンを押して、ソースをラジオにする

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 BANDボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。



F1 → F2 → A1 → A2

- ・バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(「複数の放送局を自動的に記憶させる」26ページ・「放送局を1局ずつ記憶させる」27ページ)
- ・バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになります。(「複数の放送局を自動的に記憶させる」26ページ・「記憶させた放送局を呼び出す」28ページ)

3

◀または▶ボタンを押して、放送局を選局する

- ▶：高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀：低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

- ・0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- ・自動選局を使うと、電波の弱い放送局は選局されないことがあります。その場合は手動選局で受信してください。

4

VOLUMEを回して、音量を調節する

- 右回し：音量を上げるとき
- 左回し：音量を下げるとき



0～62の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

5

内蔵CDに切り換えるか、電源をOFFにして、ラジオの受信をやめる

(「本機の基本操作」8ページ)

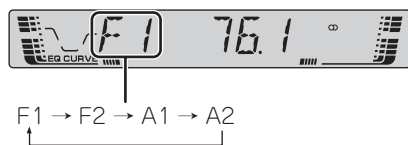
複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 BANDボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。

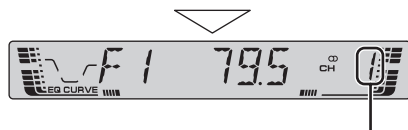


2 T.INFO/BSMボタンを2秒以上押して、BSMを始める

記憶動作中にもう一度押すと、BSMを途中解除します。



記憶動作中に点滅します。



記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

- ・受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- ・記憶させた放送局を呼び出すには(「記憶させた放送局を呼び出す」28ページ)

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 BANDボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。



F1 → F2 → A1 → A2

2 ◀または▶ボタンを押して、記憶させたい放送局を選局する

▶：高い周波数の放送局を選局するとき

◀：低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

3 1～6のボタンの1つを2秒以上押して、記憶させる



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



点滅が終わると、受信中の放送局が押したボタンに記憶されます。

ラジオを聞く

・記憶させた放送局を呼び出すには(「記憶させた放送局を呼び出す」28ページ)

記憶させた放送局を呼び出す

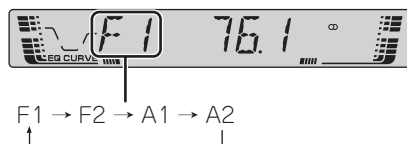
プリセットチューニング

記憶させた放送局は簡単に呼び出すことができます。

■記憶させた放送局を直接呼び出すとき

1 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。



2 1～6のボタンの1つを押して、記憶させた放送局を呼び出す

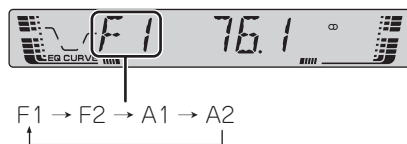


受信中の記憶番号

■記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

1 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。



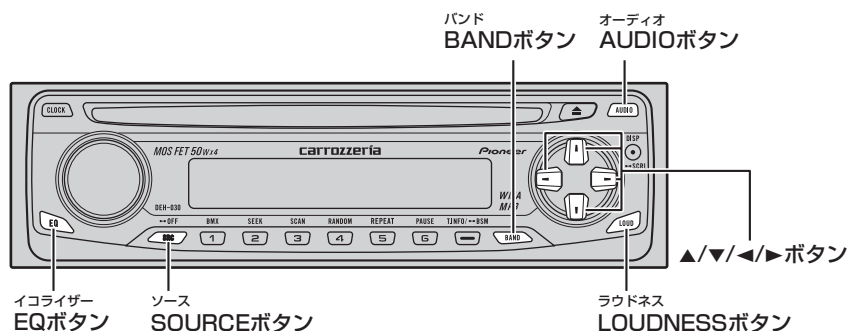
2 ▲または▼ボタンを押して、記憶させた放送局を呼び出す

- ▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき
- ▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

音を調節する



イコライザーカーブを選ぶ

イコライザーカーブ選択

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から、お好みのものを選ぶことができます。

1 EQボタンを押して、イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに、次のようにイコライザーカーブが切り換わります。



イコライザーカーブ

SPR-BASS→POWERFUL→NATURAL→VOCAL→CUSTOM→EQ FLAT
→SPR-BASSに戻る

- ・CUSTOMには、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが記憶されます。（「お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する」31ページ・「イコライザーカーブを細かく調節する」32ページ）

オーディオ調節モードを切り換える

オーディオ調節モード

オーディオ調節モードを切り換えて、音を調節することができます。

1 AUDIOボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える



ボタンを押すごとに、次のようにオーディオ調節モードが切り換わります。

音量バランス調節モード (30ページ) → イコライザーカーブ調節モード (31ページ) → ラウドネスモード (33ページ) → FIEモード (34ページ) → SLAモード (35ページ) → 音量バランス調節モードに戻る

2 BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ソースがFMの場合、SLAモードには切り換わりません。（「各ソースの音量の違いをそろえる」35ページ）
- ・約30秒間何も操作しないと、オーディオ調節モードは自動的に解除されます。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 AUDIOボタンを押して、音量バランス調節モードにする



2 ▲または▼ボタンを押して、前後の音量バランスを調節する

- ▲：前を強めるとき
- ▼：後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

3 ◀または▶ボタンを押して、左右の音量バランスを調節する

- ▶：右を強めるとき
- ◀：左を強めるとき



左右のバランスはR9～L9の範囲で調節できます。

4 BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

イコライザーカーブ調節モード

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

- 1** EQボタンを押して、調節したいイコライザーカーブに切り換える



イコライザーカーブ

- 2** AUDIOボタンを押して、イコライザーカーブ調節モードにする



- 3** ◀または▶ボタンを押して、周波数帯域を選ぶ

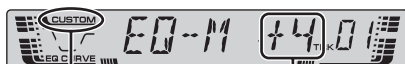


L (低音)、M (中音)、H (高音)
の中から選ぶことができます。

- 4** ▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



イコライザーカーブを調節すると表示されます。

−6〜+6の範囲で調節できます。

- 5** BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・イコライザーカーブを調節すると、CUSTOMに記憶されます。
- ・CUSTOMを選ぶには（「イコライザーカーブを選ぶ」29ページ）
- ・交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。（「交通情報を受信する」36ページ）

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブ詳細設定モード

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

1 AUDIOボタンを2秒以上押して、イコライザーカーブ詳細設定モードにする



2 AUDIOボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、Low、Mid、Highが切り換わります。



表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	Low
200、500、1k、2kのいずれか	Mid
3k、8k、10k、12kのいずれか	High

3 ◀または▶ ボタンを押して、中心周波数を選ぶ



選んだ周波数が表示されます。

4 ▲または▼ボタンを押して、選んだバンドのQファクター (イコライザーカーブの傾き) を選ぶ

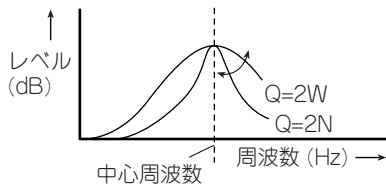
Qファクター (イコライザーカーブの傾き) は、2Nが最も急な傾きになり、1N、1W、2Wの順で傾きがゆるやかになります。

▲: 傾きを急にするとき

▼: 傾きをゆるやかにするとき



2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。



5 BANDボタンを押して、イコライザーカーブ詳細設定モードを解除する

- ・約30秒間何も操作しないと、イコライザーカーブ詳細設定モードは自動的に解除されます。
- ・イコライザーカーブを調節すると、CUSTOMに記憶されます。
- ・交通情報を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。(「交通情報を受信する」36ページ)

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1** AUDIOボタンを押して、ラウドネスモードにする



- 2** ▲ボタンを押して、ラウドネスをONにする

▼ボタンを押すと、OFFになります。



ラウドネスがONのときに表示されます。

・LOUDNESSボタンを押して、ラウドネスをON/OFFすることもできます。

- 3** ◀または▶ボタンを押して、ラウドネスの効果を選ぶ

- ▶：効果を大きくするとき
- ◀：効果を小さくするとき



LOW (弱)、MID (中)、HI (強)の中から選ぶことができます。

- 4** BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

音を調節する

前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーからは低音だけを出力し、前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 AUDIOボタンを押して、FIEモードにする



2 ▲ボタンを押して、FIEをONにする

▼ボタンを押すと、OFFになります。



3 ◀または▶ボタンを押して、FIEの周波数を選ぶ

▶：高い周波数を選ぶとき

◀：低い周波数を選ぶとき

選んだ周波数より低い音だけが、後ろのスピーカーから出力されます。



100、160、250 (Hz) の中から選ぶことができます。

4 BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

5 前後の音量バランスを調節する

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音は低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。（「前後左右の音量バランスを調節する」30ページ）

ご注意

- ・FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

- ・FIEとは、Front Image Enhancer（フロントイメージエンハンサー）の略です。
- ・2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソース（音源）を切り換えたときの音量に違いがでないように、FMの音量を基準にして、各ソースの音量の違いをそろえることができます。

- 1** SOURCEボタンを押して、FM放送を受信し、FMの音量を確かめる



- 2** SOURCEボタンを押して、調節したいソースに切り換える



- 3** AUDIOボタンを押して、SLAモードにする



- 4** ▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

▲：レベルを上げるとき

▼：レベルを下げるとき

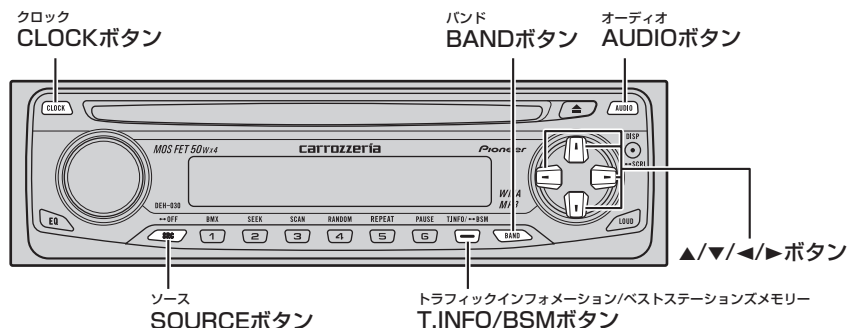


−4〜+4の範囲で調節できます。

- 5** BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SLAとはSource Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときはSLAモードに切り換えることはできません。
- ・ AM、CDのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、AMと交通情報は同じ設定になります。（「交通情報を受信する」36ページ）

その他の機能と付録



交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM1,620kHzまたは1,629kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 T.INFO/BSMボタンを押して、交通情報を受信する



AM1,620kHzの交通情報を受信します。

- ・この機能はどのソースを聞いているときでも、操作できます。
- ・この機能は電源がOFFのときでも、操作できます。

2 ◀または▶ ボタンを押して、放送に合わせて周波数を切り換える



- ▶ : 1,629kHzにするとき
- ◀ : 1,620kHzにするとき

受信周波数

3 T.INFO/BSMボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- ・交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として自動的に記憶され、次回も同じ音量設定で交通情報を聞くことができます。
- ・交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめると、イコライザーカーブは交通情報を受信する前の状態に戻ります。

時計を合わせる

時計調節モード

時計を合わせることができます。

1 SOURCEボタンを1秒以上押して、電源をOFFにする

2 電源がOFFのときに、AUDIOボタンを2秒以上押して、時計調節モードにする

3 ◀または▶ボタンを押して、時または分を選ぶ



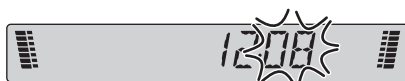
押すごとに時と分が切り換わります。

4 ▲または▼ボタンを押して、時刻を合わせる

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき

分を修正すると、0秒からカウントが始まります。



5 BANDボタンを押して、時計調節モードを解除する

・ 時計調節モードを解除すると、電源がOFFになります。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFにかかわらず、時計を表示させることができます。

1 CLOCKボタンを押して、時計を表示する
もう一度押すと時計表示を解除します。



時計表示

・ 本機の電源がONの場合、時計表示のときに他の操作をすると時計表示は一時的に解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。

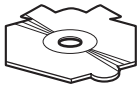
CDの正しい使いかた

■使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

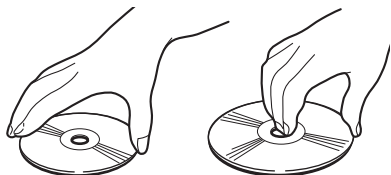


- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。

- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応しておりません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

■ 取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

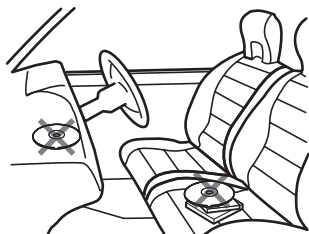


- CDにキズを付けしないでください。
- CDにシールなどを貼り付けしないでください。



■ 保管上のご注意

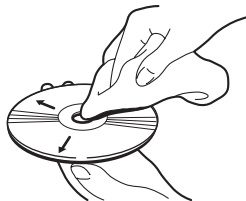
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



■ CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

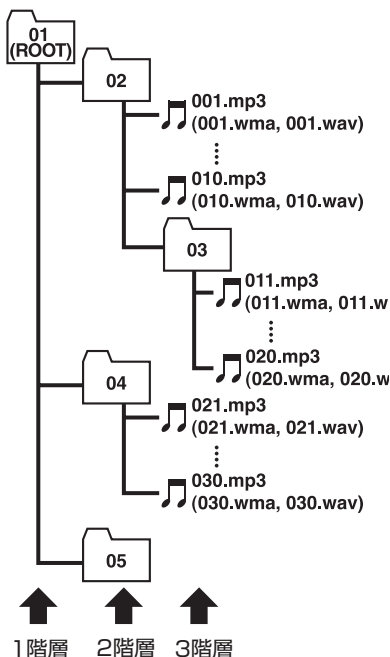
ご注意

- ・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

WMA/MP3/WAVファイルについて

■ フォルダとWMA、MP3およびWAVファイルについて

- WMA、MP3およびWAVファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(48ページ)
- 本機はマルチセッション (48ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト (48ページ) には対応していません。
- m3u (49ページ) のプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma、.wav) を含めて64文字までです。また、フォルダ名の最大表示文字数は64文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) (48ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から64文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがないCDを、MP3/WMA/WAVファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

- ・ フォルダ番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・ CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMA、MP3およびWAVファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA、MP3およびWAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMA、MP3およびWAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・ WMA、MP3およびWAVファイルを含まないフォルダは認識しません。(フォルダ番号の表示をせず、スキップします。)
- ・ 8階層までのWMA、MP3およびWAVファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ ディスクに含まれるフォルダの合計が99個まで再生可能です。

■ WMAとは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。(49ページ)

- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■ 再生できるWMAファイルについて

- ・ WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。
- ・ 本機では、Windows Media Player Ver.7、7.1、8、9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。

- 一般的にWMAファイルは、ビットレート(48ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、CBR(固定ビットレート)時は、48kbps～320kbps、VBR(可変ビットレート)時は、48kbps～384kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
- デジタル著作権保護(DRM)で保護されたファイルを再生したときは、“SKIPPED”と表示され、そのファイルの再生をスキップします。
- ディスク内の全てのファイルがデジタル著作権保護(DRM)で保護されている場合は、“PROTECT”と表示され、そのディスクの再生はできません。
- 本機は以下のフォーマットには対応していません。
 - * Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - * Windows Media Audio 9 Lossless
 - * Windows Media Audio 9 Voice

■ MP3とは？

- MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(49ページ)

■ 再生できるMP3ファイルについて

- ・ MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

- ID3 Tag (48ページ) のVer1.0、1.1、2.2、2.3および2.4のアルバム名 (ALBM TTLとして表示)、曲名 (TRK TTLとして表示)、アーティスト名 (ART NAMEとして表示) の表示に対応しています。なお、ID3 TagのVer1.XとVer 2.Xが混在している場合は、Ver 2.Xが優先されます。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート(48ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps～320kbpsのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

■ WAVとは？

- Waveformの略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

■ 再生できるWAVファイルについて

- ・ WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子 (.wav) を付けしないでください。

- 本機は、LPCM形式 (48ページ) およびMS ADPCM形式 (49ページ) でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM形式では16/22.05/27/32/44.1/48 kHz、MS ADPCM形式では22.05/44.1 kHzのサンプリング周波数で記録されたファイルの再生に対応しています。
- サンプリング周波数の全ての桁は、表示されないことがあります。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数(48ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、LPCM時は8/16 bit、MS ADPCM時は4 bitの量子化ビット数の再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高い量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

故障かな?と思ったら

故障かな? と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

「保証書とアフターサービス」(47ページ)をお読みにになり、修理を依頼してください。

■共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (8ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (30ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (30ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (30ページ)

■ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。	周波数を正しく合わせてください。(24ページ) 他の放送局を選局してみてください。(24ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(24ページ)

■CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDが極端に汚れている。 CDに曇りや水滴がついている。	CDの汚れをふき取ってください。(39ページ) CDの曇りや水滴をふき取ってください。(39ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	EJECTボタンを押すと、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(39ページ) ディスクを交換してください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度ディスク再生にしてください。
「ERROR-22」 「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	ディスクを交換してください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	ディスクを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3/WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生したとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
「PROTECT」	ディスク内の全てのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

用語解説

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されています。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つで、量子化ビット数が高いほど、音質は良くなります。しかし、量子化ビット数が高くなれば高くなるほどデータ容量も増加するため、より多くの記憶容量が必要となります。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2：

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet：

ファイル名は、最大で64文字

Romeo：

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

MS ADPCM

Microsoft adaptive differential pulse code modulationの略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

VBR (バイビーアール)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WAV

Waveformの略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用しエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

おもな仕様

■ 共通部

- 使用電源：**
DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)
- アース方式：**
マイナスアース方式
- 最大消費電流：**
10 A
- 外形寸法：**
(取付寸法)：
178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法)：
170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm
- 質量：**
1.3 kg (コード含まず)

■ アンプ/オーディオ部

- 最大出力：**
50W × 4
- 定格出力：**
22W × 4
(50~15,000 Hz、5 % THD)
- 負荷インピーダンス：**
4 Ω (4~8 Ω 使用可能)
- イコライザー：**
3バンドイコライザー：
(LOW)
周波数：40/80/100/160 Hz
Qファクター：0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅：±12 dB
(MID)：
周波数：200/500/1k/2k Hz
Qファクター：0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅：±12 dB
(HIGH)：
周波数：3.15k/8k/10k/12.5k Hz
Qファクター：0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅：±12 dB

- ラウドネスコンター：**
(LOW)：
3.5 dB (100 Hz)
3 dB (10 kHz)
(MID)：
10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)
(HIGH)：
11 dB (100 Hz)
11 dB (10 kHz)
(ボリューム：-30 dB)

■ CDプレーヤー部

- 形式：**
コンパクトディスクオーディオシステム
- 使用ディスク：**
コンパクトディスク
- 信号フォーマット：**
サンプリング周波数：
44.1 kHz
量子化ビット数：
16ビット直線
- 周波数特性：**
5~20,000 Hz (±1 dB)
- S/N比：**
94 dB (1 kHz)
(IHF-Aネットワーク)
- ダイナミックレンジ：**
92 dB (1 kHz)
- チャンネル数：**
2 (ステレオ)
- MP3デコーディングフォーマット：**
MPEG - 1 & 2 Audio Layer - 3
- WMAデコーディングフォーマット：**
Ver.7、7.1、8、9 (2ch audio)
- WAVシグナルフォーマット：**
リニアPCM、MS ADPCM

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.1～89.9 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N 50 dB感度：

10 dBf (0.9 μ V/75 Ω 、モノラル)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、

0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30～15,000 Hz (\pm 3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522～1,629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μ V (S/N：20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット	：1
取付ネジ類	：1式
取扱説明書	：1
取付説明書	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

● ホームページ

「商品についてよくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://faq.pioneer.co.jp/faqnavi/piofaq/top/navi.cgi>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

☎ **0070-800-8181-11**

☎ 【一般電話】 **03-5496-8016**

● カタログ請求とメールマガジン登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

● ファックス受付 ☎ **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81095**

☎ 【一般電話】 **0538-43-1161**

☎ ファックス **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81028**

☎ 【一般電話】 **03-5496-2023**

☎ ファックス **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

☎ 【一般電話】 **098-879-1910**

☎ ファックス **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2004

<KMMZX> <04J00000> <YRA5003-B/U>